

ソマリア通信 1号

ソマリアを支援する会
514 津市唐多町5-59
TEL 059-224-7073

1996年(平成8年)4月6日(土曜日)



正式名称 ソマリア民主共和国

面積 63万7657平方キロメートル (日本の約1.7倍)
人口 約895万人
首都 モガディシオ
言語 ソマリ語、英語、イタリア語、アラビア語
住民 1/3系99%のソマリ族が大部分、他にダハル族
宗教 イスラム教が国教、98%以上がスンニ派
平均寿命 男43.4才 女46.6才
通貨 ソマリアシリング

満足は他に取って得られるものではなく、
他のために尽して得られるものである。

(第三種郵便物認可)

第2次国連活動撤退から1年余り

ソマリア 飢餓と貧困に

国連軍維持活動(UNOMOT)の撤退後、武力による争いの激化が続き、国内に飢餓と貧困が蔓延している。UNOMOTの活動は、ソマリアの平和と安定を維持するための重要な役割を果たしていたが、撤退後は状況がさらに悪化している。

コレラ、栄養失調、治安悪化

孤立深めるアイディド派

アイディド派は、北東部のソマリアを支配している。彼らは、北東部の地域を支配しているが、他の地域との関係は悪化している。コレラや栄養失調などの健康問題も深刻化している。

ソマリア 飢餓と貧困に



グリーンライン付近に放棄された国連の装甲車に群がる子供たち。町では小銃を持った民兵が警戒に当たっている。

最大の犠牲者は子供たちだ。地元の民衆、看護婦、自衛隊員など、合計100人以上の犠牲者が出た。ソマリア人は、国連軍の撤退を歓迎しているが、同時に、国連軍の撤退による被害も深刻化している。

内戦は、ソマリアでは、1991年から始まった。この間、約100万人が死亡し、約1000万人が飢餓と貧困に苦しんでいる。国連軍の活動は、この状況を緩和するために重要な役割を果たしていたが、撤退後は状況がさらに悪化している。

ソマリアの「死地」